

Value Sheet

Story by Ryusuke Tsukiji / Designed by Fumiro Taniguchi

心配りが減ったから、
夫婦間のすれ違いが
起こります。

気遣える、満たされる、

新婚のようなセックスを
もう一度したいと思える間柄へ。

愛と性のひもとき屋

～夫婦関係リメイク+幸せなセックスの道しるべ～

松岡 晶子

Akiko Matsuoka



Personal Story

夫婦円満のコツは、愛と感謝を伝えるだけでなく、夫婦として在り続けたいと思うかどうかです。

——最近、妻が変わってきたような気がする。
と感じ始めたタイミングは、同時に相手も、
“すれ違っている”と思っていることがほとんど。

3組に1組が離婚する昨今、日々のズレが大きな溝へ生じているからです。

母子家庭で育った私は、母の期待に応えようとする“良い子ちゃん”。母なりに愛してくれていましたが、満たされず寂しさを覚えていました。

そんな私が交際2ヶ月目の彼とデキ婚した際、性格の不一致が起り、苦しい毎日でした。

『結婚=幸せ』と考えていた私にとって、「夫婦って何?」「どこで間違っていたの?」

とモヤがかかり、不満の矛先はすべて夫へ。

そんな自分を拭きたい一心で内省し、本当は何を求めていたのか?どう選択すればよかったのか——?と自問自答します。

結果、私は”同じ未来を見据え、理解し合い、寄り添おうとする姿勢を望んでいる”ことが分かりました。幼い頃の寂しさを、結婚相手でも埋めようとしている自分に気づきます。

離婚後、私は新たに出会った男性と恋に落ちました。また、安心感と信頼感を寄せることがで



き、本当の意味で相性の良いセックスにも目覚めます。そうなれたのも、自分自身素直でいよう、と思えたからです。

今、私は“愛と性のひもとぎ屋”として相談業を生業にしています。かつての私と同じように苦しみ、悩む人の力になりたいのです。

夫婦間でしか分からないことばかりではありません。第三者的立場だからこそ伝えられることもあります。まずは一度、私に心を開いていただけませんか?

Experience



1991年生まれ、熊本出身。

看護師として超急性期～慢性期を経験、老若男女と関わる。男女→夫婦→父と母になっていく過程で、家事育児の分担や金銭感覚の違い、義家族との付き合い方などに折り合いがつかなくなる。産後の精神的余裕のなさも相まって、夫婦間に溝ができ始める。

離婚後、20歳上の男性と出会い「大事にされ、愛される（自分の意見や存在を尊重してもらおう）感覚」に衝撃を受ける。信頼感や安心感がベースにあることで、身体だけでなく心も満たされるセックスに辿りつけると確信。1人でも多くの男女に「愛の循環」のすばらしさが届くよう、SNSやリアルでアツク奔走中。相手の中に眠る本音を紐解くことに情熱を捧げている。

Contact

mail | merry.8008.sun@gmail.com

lit.link(リットリンク)



LINE

